

月刊 新翔タイムズ

第16号
新翔タイムズ
編集室
発行・南紀州新聞社

グラウンドに歓声響く

2009年度体育祭



1年生の大縄飛び



2年生女子綱取りの激戦



3年生が綱引きで奮闘

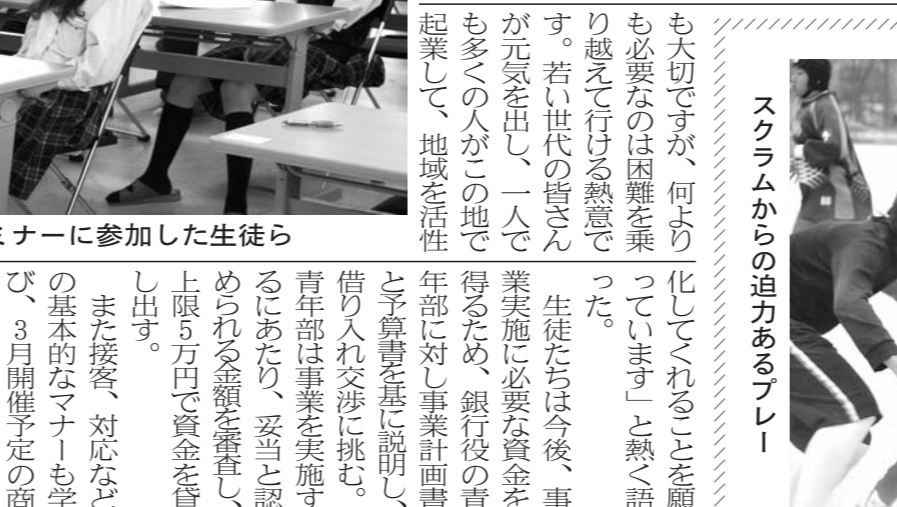
体育祭が挙行された。数日間の天候不順で開催が危ぶまれたが、田中保健体育部長の「絶対できる!!」という宣言通り、曇り空ながら雨は降らず、開催することができた。ダンスパトロン部、生徒会執行部を先頭に選手入場。今年は1年生が1クラス少ないため、競技・採点方法に工夫をした。学年競技を取り、1年生は大縄飛び、2年生は綱取り、3年生は綱引きを実施した。午後からはブロック対抗の応援合戦。今年はシルバークロウが5連勝など、準備期間の短さで心配されたが、各ブロックともしっかりとダンスを完成させ、華麗な演技を見せた。最後のフォークダンスでは、全員例年以上の乗りの良さを見せ、「アンコール」の声がかかるほどであった。応援合戦、総合点でも、馬アロック(3年2組、2年4組)が見事に優勝を遂げた。



ダンスパトロン部、生徒会執行部を先頭に選手入場

資金の借入れを学ぶ

「銀行融資についてのセミナー」
2学年マーケティング選択生49人は、ビジネスマン・シミュレーション・セミナーの一環で、新宮信用金庫監事の尾玉幸夫さんから「銀行融資」について、金融機関から資金を借り入れるために必要な知識



セミナーに参加した生徒ら

も大切ですが、何より「化」して「売」ることを願う。尾玉さんは融資を受けるためにはどのような創業計画を立てればよいか、人物、金、技術の四点を協同して解説し、「これら四点が元気をだし、一人でも多くの人がこの地で起業して、地域を活性化させる」と熱く語った。生徒たちは今後、事業実施に必要な資金を得るために、銀行の青年部に対し、銀行役の青年部員に説明し、融資の申し込み書に説明し、借入れ交渉に挑む。3月開業予定の商店街共同イベントで、空き店舗を利用し販売実習に取り組むことになっている。

ラグビー同好会

ラグビー同好会
活動の内容は、日曜日(ウエートトレーニング)水・金曜日(坂ダッシュ、ウエートトレーニング)、火・木・土曜日(本練習)の3回、現任監督は3年生の尾野浩二、1年生8人、マネージャー11人、計23人が活動している。6月より練習試合が行われるようになり、熊野高校、田辺工業高校、那賀高校、新宮高校、奈良王寺工業高校と対戦し、多くのことを学ぶことができたという。全国大会和歌山予選への参加も認められ、紀三井寺球技場で新宮高校と対戦したが健闘の未だれた。

税についての学習
3年生全員で税に関する学習。キャリア教育の一環として、税について学び、税の役割や、税金がどのように使われているのか、税金を支払った後の生活がどうなるのか、税金の重要性について学びました。講師としてボランティアの宮本美奈さんと、市社会福祉協議会の皆さんを招き、車いすから人を搬送する方法、越える方法、車いすに乗りこえる方法などを学びました。

車いす体験
基礎介護選択生「基礎介護」選択の生徒が、車いす体験の授業を受けた。講師としてボランティアの宮本美奈さんと、市社会福祉協議会の皆さんを招き、車いすから人を搬送する方法、越える方法、車いすに乗りこえる方法などを学びました。

第35回 新翔七海祭

第35回七海祭(文化)名称をそのまま継承し、祭が開催された。新翔高校として三年目を迎える。今年の特徴は、スティーブ・ジョブズの名言が多用されたこと、新宮商業高校校歌の「七つの海の消息を」の「結婚式」をテーマにした創作ダンス、2年4組の「モノリザ」など工夫を凝らした。



3年5組のネット壁画「モノリザ」

テージを展開した。クラブでは、ダンスパトロン部が昨年に続いて女子4人のかわい創作ダンスを披露した。1年2組の「パルー」のダンス、2年5組の浴衣で踊る「パラパラ」、3年1組の「ヒップホップ」の技術系生徒の「川原家」とパワショベルがまず目を引く。HR棟東側には、3年5組の「モノリザ」、1年3組の「ワンピース」の巨大ネット壁画が、写真部、書道部、3年フリーデザイン選択生の「ぎんなんと梅干」の展示が目を引く。玄関前には華道部の作品、管理棟二階には2年2組の「パルー」の「アートの家」と1年1組の「砂絵」、食堂前には3年2組の「記念写真撮れます」、HR棟一階には3年3組の「ストラクチャー」と「ストラクチャー」の展示、文芸部の作品展示、二階廊下には1年4組の「色紙展」、全クラスで取り組んだ作品が、例年以上にレベルの高いものばかり。



恒例の新翔マーケット

食品パズルに取り組み、中庭のクラスは例年より展示、二階廊下には「うどん」「焼きそば」など定番のメニュー、1年生は「揚げ餃子」「豚汁」「揚げ餃子」など、例年以上にレベルの高いものばかり。好評であった。

神戸フィールドワークに参加 観光系科目選択生(2・3年生)



セミナーに参加した生徒ら

この授業は、本校観光施設での現地学習と同大学との連携の一環として、昨年度より実施されている。観光系講義の受講・学習ガイドによる神戸の観光施設について、観光施設での現地学習

大江晃司先生
先生の紹介
こんにちは、今年度より本校に赴任して参りました大江晃司と申します。担当科目は商業で、1年2組の副担任、部活動は硬式野球部を担当しています。4月から、当系列(次年度入学)生から地域観光系列が、多岐にわたります。先生方との関わりが、多岐にわたります。先生方との関わりが、多岐にわたります。

地震体験談を聞く
「防災紙芝居制作班」の11人
防災デザイン選択生「教育デザイン制作班」の11人が、防災紙芝居の制作について話を聞いた。制作班は、11人が昭和19年を背景に、それを近隣の小学校や保育園などで上演する。今回の体験談は、関係の図書などを参考に、紙芝居のストーリーを考えていく。



福田順一さんと桐本知江子さんの話を聞いた